

諏訪湖周クリーンセンター (ecoポップ)

令和元年度 下半期運営状況



ごみ処理等

令和元年10月～令和2年3月（令和元年度下半期）におけるごみ搬入量

1人当たりが1日に出すごみ量を「原単位」といい、当組合では、ごみ量の推移を把握するために「原単位」の変動に注目しています。

- ①原単位：635.0g/人・日（昨年度：627.5g）
昨年度と比較して、**7.5gの増**となりました。
⇒この増加量は**にんにく1片分**に相当します。



下半期における湖周住民1人当たりのごみ量は約116kgとなります。
⇒この重さは**250cc前後の小型～中型バイク1台分**に相当します。



$$635\text{g} \times 183\text{日} (10\sim 3\text{月}) = 116,205\text{g} \div 1000 = 116\text{kg}$$

ごみ原単位一覧表 (g/人・日)

年度	岡谷市	諏訪市	下諏訪町	2市1町
平成30年度	553	702	621	627.5
令和元年度	557	712	633	635.0
前年度比	+4	+10	+12	+7.5

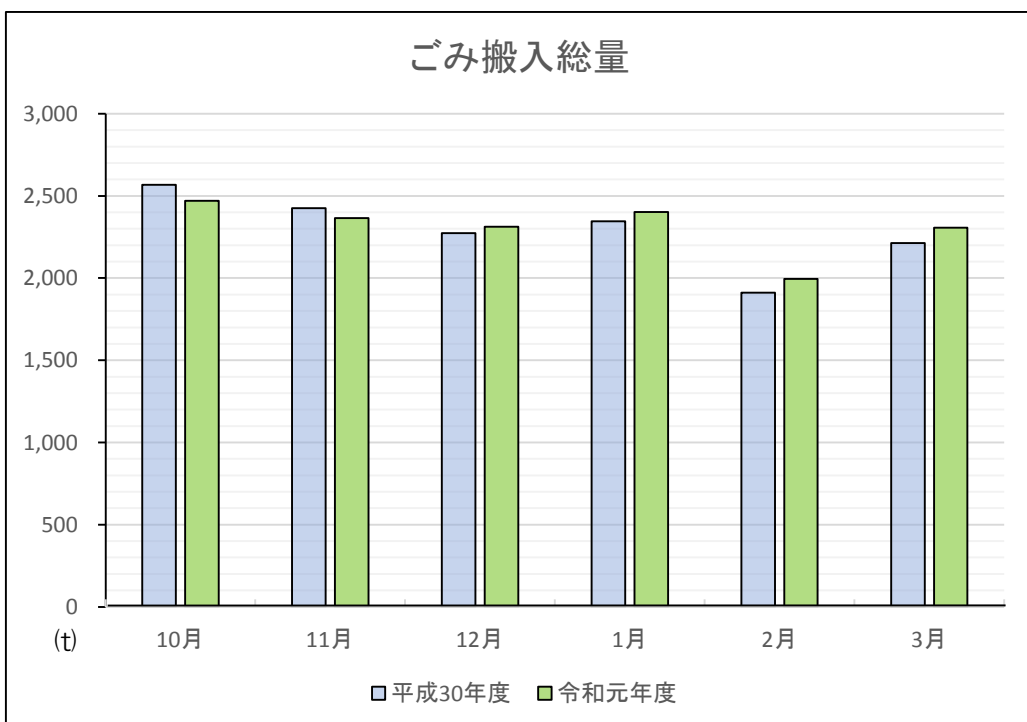
令和元年度下半期野の原単位(635.0g)は
 ・おにぎり1個(約110g)
 ・アスパラガス1本(約25g)
 ・ペットボトル飲料(500g)
 に相当します!



- ②ごみ搬入総量：13,852.42 t（前年度比：13,736.11）
昨年度と比較して、搬入量は**116.31 tの増**となりました。
⇒この増加量は**普通自動車約80台分**に相当します。



ごみ搬入総量

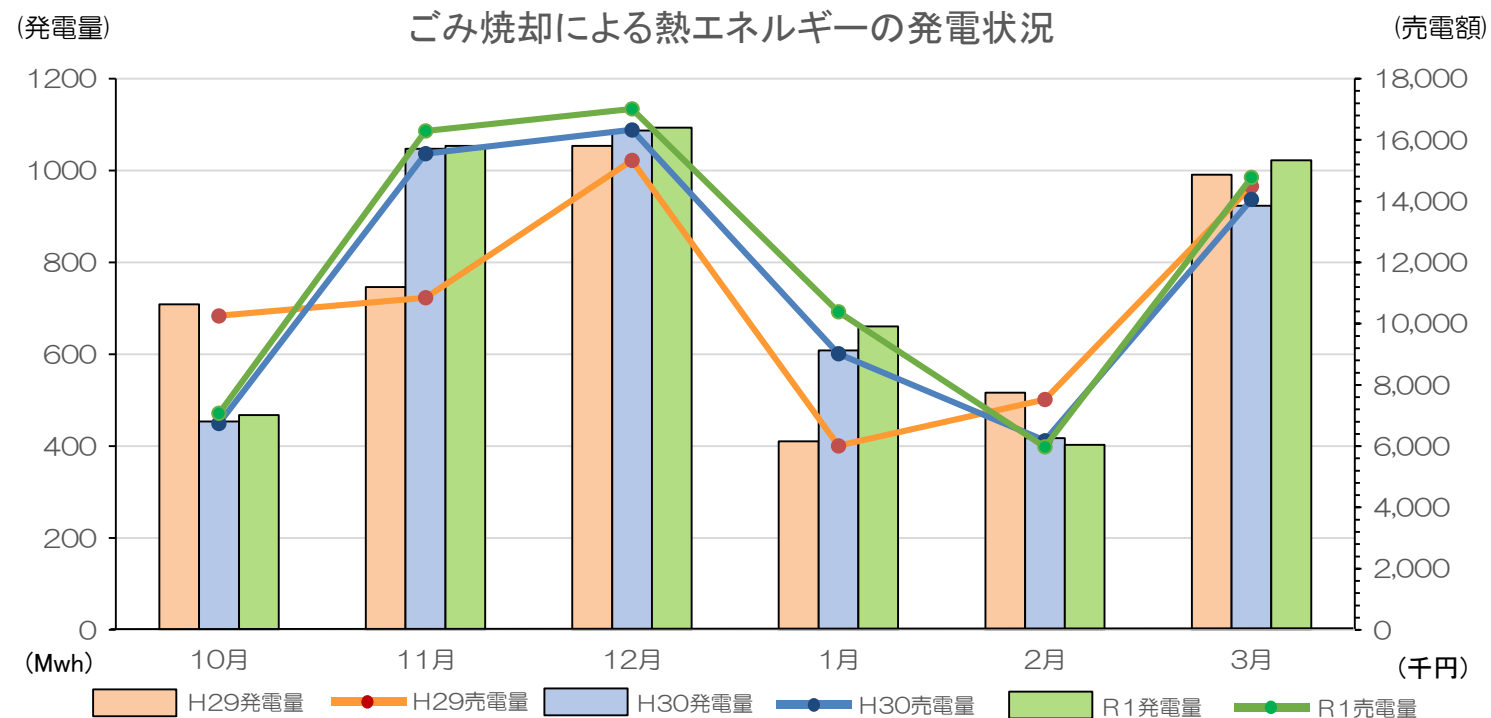


下半期ごみ搬入量 (t)

	平成30年度	令和元年度
10月	2,568	2,470
11月	2,426	2,366
12月	2,273	2,312
1月	2,345	2,402
2月	1,911	1,966
3月	2,214	2,306
合計	13,737	13,852

発電・売電状況

- 令和元年10月～令和2年3月（令和元年度下半期）における発電・売電量
 発電量合計：7,055.47MWh（発電効率：18.7%）
 売電量合計：4,701.00MWh（売電収入：71,529,019円）
 使用電力量：2,276.64MWh（自家消費率：32.27%）



月	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	売電量(MWh)	売電額(円)	売電量(MWh)	売電額(円)	売電量(MWh)	売電額(円)
10月	709.10	10,259,542	454.03	6,748,216	467.46	7,075,493
11月	746.71	10,849,134	1,047.21	15,550,829	1,053.71	16,292,353
12月	1,053.75	15,331,155	1,087.35	16,329,548	1,093.63	17,014,108
1月	410.40	6,012,157	608.67	9,018,279	660.99	10,388,091
2月	516.71	7,525,370	417.56	6,180,925	402.72	5,978,600
3月	990.87	14,489,072	923.33	14,055,946	1,022.49	14,780,374
合計	4,427.54	64,468,430	4,538.15	67,883,743	4,701.00	71,529,019

環境分析等

- 結果概要
 人の健康及び生活環境、自然環境を保護するため、国や県によって大気や水質、騒音等について「基準値」が設けられています。
 諏訪湖周クリーンセンターでは、**国や県の定める基準値より更に厳格な「自主基準値」を設定**し、安全・安心な施設運営運営に取り組んでいます。
 排出される排ガス及び再利用水等について基準値はもちろん自主基準値を超えていないかを確認する調査(環境分析)を年に複数回実施しております。
 令和2年3月までに実施しました環境分析の結果、**全ての数値において国の定める基準値及び自主基準値を下回る結果**となりました。
 環境分析結果の詳細については、以下のとおりとなります。

□ 主な環境分析結果

・排ガス

項目	単位	国・県基準値	自主基準値	1号炉排ガス		2号炉排ガス		測定月
				測定結果	前回結果	測定結果	前回結果	
ばいじん	mg/m ³	0.1	0.007	0.001 (未満)	0.001 (未満)	0.001 (未満)	0.001 (未満)	令和2年3月
塩化水素	ppm	430	40	22	2	29	5	令和2年3月
硫黄酸化物	ppm	3000	25	15	15	14	15	(1号)令和2年2月 (2号)令和2年3月
窒素酸化物	ppm	250	90	68	80	61	70	令和2年3月
水銀	μg/m ³	50	50	4(未満)	4(未満)	4(未満)	4(未満)	令和2年3月
鉛	μg/m ³	10	10	0.1(未満)	0.1(未満)	0.1(未満)	0.1(未満)	令和元年9月
カドミウム	μg/m ³	1	1	0.1(未満)	0.1(未満)	0.1(未満)	0.1(未満)	令和元年9月
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³	0.1	0.05	0.000033	0.000023	0.000019	0.000021	令和2年3月

・再利用水 水質

項目	単位	国・県基準値	自主基準値	測定結果	前回結果	測定月
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10	10	0	0.00026	令和2年2月
水素イオン濃度	ph	5~9	5~9	8.2	8.2	令和2年2月
生物化学的酸素要求量	mg/L	600	600	1.3	1(未満)	令和2年2月
浮遊物質	mg/L	600	600	1(未満)	1(未満)	令和2年2月
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.1	0.03	0.003(未満)	0.003(未満)	令和2年2月
シアン化合物	mg/L	1	1	0.05(未満)	0.05(未満)	令和2年2月
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	0.1	0.01(未満)	0.01(未満)	令和2年2月
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	0.003	0.0005(未満)	0.0005(未満)	令和2年2月
化学的酸素要求量	mg/L	なし	なし	2.5	2.5	令和2年2月
大腸菌群数	-	なし	なし	0	0	令和2年2月

・騒音

項目	単位	項目	国・県基準値	自主基準値	測定結果	前回結果	測定月
騒音	dB	昼間(敷地境界線①)	65以下	60以下	35	40	令和2年1月
		昼間(敷地境界線②)			33	46	令和2年1月
		昼間(敷地境界線③)			51	49	令和2年1月
		昼間(敷地境界線④)			55	52	令和2年1月
		夜間(敷地境界線①)	60以下		37	35	令和2年1月
		夜間(敷地境界線②)			36	41	令和2年1月
		夜間(敷地境界線③)			51	49	令和2年1月
		夜間(敷地境界線④)			55	52	令和2年1月

・悪臭

種類	項目	単位	国・県基準値	自主基準値	測定結果	前回結果	測定月
悪臭	アンモニア	ppm	1~5	2	0.1未満	0.10	令和2年1月
	メチルメルカプタン		0.002~0.01	0.004	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
	硫化水素		0.02~0.2	0.06	0.002未満	0.002未満	令和2年1月
	二硫化メチル		0.01~0.2	0.03	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
	アセトアルデヒド		0.05~0.5	0.1	0.005未満	0.005未満	令和2年1月
	プロピオンアルデヒド		0.05~0.5	0.05	0.005未満	0.005未満	令和2年1月
	ノルマルブチルアルデヒド		0.009~0.08	0.009	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
	イソブチルアルデヒド		0.02~0.2	0.02	0.002未満	0.002未満	令和2年1月
	イルマルパレルアルデヒド		0.009~0.05	0.009	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
	イソパレルアルデヒド		0.003~0.01	0.003	0.01未満	0.01未満	令和2年1月
	酢酸エチル		3~20	3	0.01未満	0.01未満	令和2年1月
	メチルイソブチルケトン		1~6	1	0.01未満	0.01未満	令和2年1月
	トルエン		10~60	10	0.01未満	0.01未満	令和2年1月
	プロピオン酸		0.03~0.2	0.07	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
	ノルマル酢酸		0.001~0.006	0.002	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
	ノルマル吉草酸		0.0009~0.004	0.002	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
	イソ吉草酸		0.001~0.01	0.004	0.001未満	0.001未満	令和2年1月
臭気指数	-	10	10	10未満	10未満	令和2年1月	

・粉じん

種類	単位	項目	国・県基準値	自主基準値	測定結果	前回結果	測定月
粉じん	(mg/m ³ 日平均)	敷地境界線①	0.1	0.1	0.018	0.009	令和2年1月
		敷地境界線②			0.009	0.008	
		敷地境界線③			0.009	0.009	
		敷地境界線④			0.013	0.009	

□ 環境分析結果の閲覧方法

諏訪湖ハイトラストのホームページにて公開しています。下記のURL、またはQRコードからでもアクセスできます。

諏訪湖ハイトラスト株式会社は、諏訪湖周クリーンセンターの施設の運転及び維持管理を目的として設立されたSPC(Special Purpose Company)です！

諏訪湖ハイトラスト株式会社
Suwako High Trust Inc.

URL→<http://www.suwako-ht.jp/>



バーコードリーダーでHPIにアクセスできます

運営状況総括

- ①展開検査及び各市町による分別指導、搬入禁止物啓発チラシの配布等により前年度の同時期と比べ、搬入禁止物による持ち帰り件数が減少しており、対策について一定の効果が見られました。今後も引き続き、搬入禁止物の減少に取り組みます。
- ②高効率発電が継続できている要因は、焼却ごみを十分に攪拌することで、効率的焼却処理を実施している為であると検証しており、今後も均質なごみの焼却に向けての取り組みを行います。
- ③炉内ガス温度が850℃を上回る運転を継続できたことから、排ガス中における有害物質(ダイオキシン類等)値の低水準を達成することができました。施設内で発生する排水については、本格稼働から現在まで全て施設内で再利用しています。

ecoポッポ

発行元 : 湖周行政事務組合
連絡先 : (諏訪湖周クリーンセンター) 78-1090